2025年度 日本肝臓学会主催

第1回肝疾患診療連携拠点病院研修会　開催報告

日時：2025年11月15日（土） 開催 14:00~16:00
方法：Zoom
参加回線：48回線

司会　　柘植　雅貴　医師（広島大学病院　肝疾患センター　教授）

第1部

「私の肝CO活動の歩みとICTでつながる新たな連携の形」
講師：梅木　みなみ（鹿児島大学病院　肝疾患相談センター　保健師）

「呉市における肝炎対策～陽性者のフォローアップについて～」
講師：清原　千聖（呉市保健所　地域保健課　西保健センター　保健師）
講師：薗田　稲子（呉市保健所　地域保健課　東保健センター　保健師）

第2部

「肝炎医療コーディネーターが推進する日本の肝炎対策」（DVD上映）
講師：考藤　達哉（国立国際医療研究センター　肝炎・免疫研究センター　肝炎情報センター長）

講演会

「私の肝CO活動の歩みとICTでつながる新たな連携の形」

講師：梅木　みなみ（鹿児島大学病院　肝疾患相談センター　保健師）

本講演では、多職種連携による肝炎対策への取り組み、および自施設内での仲間づくりの工夫について紹介されました。さらに、対面での緊密な連携が困難な多島嶼地域においてICTを活用した保健師やコーディネーターの役割と連携が重要であると強調されました。オンライン広場での情報共有や相談体制の拡大がよりよい医療の提供につながることが示され、ICT活用による成功事例を通じて、その可能性を実感できる内容でした。

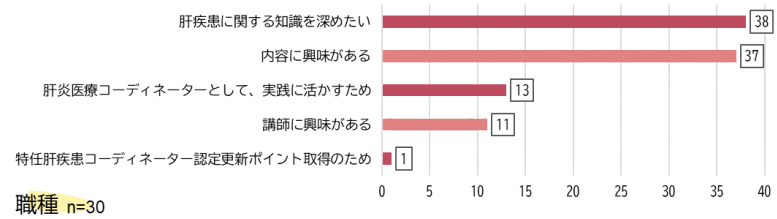
「呉市における肝炎対策～陽性者のフォローアップについて～」

講師：清原　千聖（呉市保健所　地域保健課　西保健センター　保健師）
講師：薗田　稲子（呉市保健所　地域保健課　東保健センター　保健師）

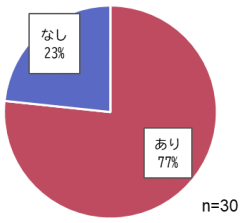
本講演では、呉市の肝炎対策の現状や肝炎ウイルス検査および精密検査の実施状況が、年度別の表でわかりやすく示されました。また、陽性者へのフォローアップの事例が紹介され、保健師による関わりの工夫も理解できる内容でした。
陽性結果でも精密検査未受診者がいる現状から、保健所と医療機関の連携強化の重要性について考えるきっかけとなる内容でした。

アンケート集計結果(回答者数：30名）

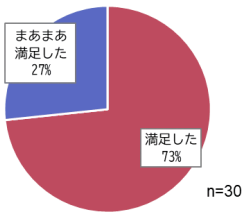
研修会申し込み時の参加動機（複数回答）n=100



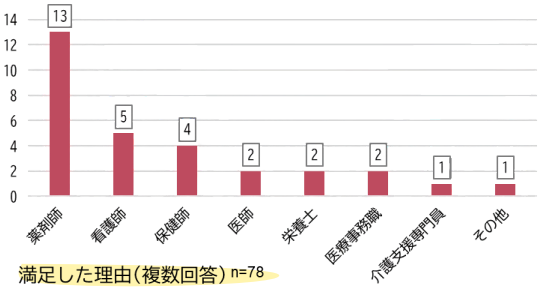
参加歴



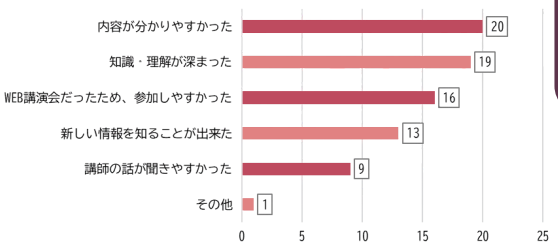
満足度



職種 n=30



満足した理由(複数回答) n=78



本研修の申込者60名の参加動機は「知識を深めたい」「内容への興味」「実践への活用」が多く、学習意欲の高さが示されました。実参加者は48名であり、薬剤師を中心に多職種にご参加いただきました。
受講後のアンケートでは、回答者全員から「満足」以上の評価をいただき、その理由として「内容がわかりやすい」「理解が深まった」「WEBで参加しやすい」などが挙げられました。
また、今後の研修会のテーマとして『B型肝炎の最新治療薬について』『医療従事者以外のコーディネーター活動情報』を求める声も寄せられ、実践に直結する情報提供へのニーズも明らかとなりました。今後の運営の参考とさせていただきます。